



電源を投入すると自動的にリセットがかかる

各パラメータをレジスタに配置する
 ポートAの0、1ビットを入力に
 ポートBの0、1ビットを出力に初期設定する。
 その他のビットはノイズを拾わないように
 すべて出力に設定する。

CH1の入力の頭で信号入力があるかどうか
 判定して待つ。

今回のプログラムでは簡単のため最大2ms
 を8ビットで計測することにした。
 (8μsの分解能でがまんすることにした)
 つまり、2msは250カウントとなる。

ニュートラルは187カウントなので、
 計測値から187を引けば、ニュートラル
 からの変移が計算できる。命令の都合で
 負の値は取り扱いが面倒なので、ここで
 符号判定して、フラグワードをセットし
 絶対値をとる。

信地旋回は直進信号値の曲がる側の値から
 左右値を引けばよいが、直進もゆっくり
 なら最大値が小さい。従って直進の最大値
 で左右値を正規化する必要がある。

左右値Aが最大値のときには超信地旋回
 のためCH1とCH2の値が互いに逆と
 なるように判定する。